



第2回 持続可能な航空燃料（SAF）の導入促進に向けた官民協議会

三菱商事株式会社

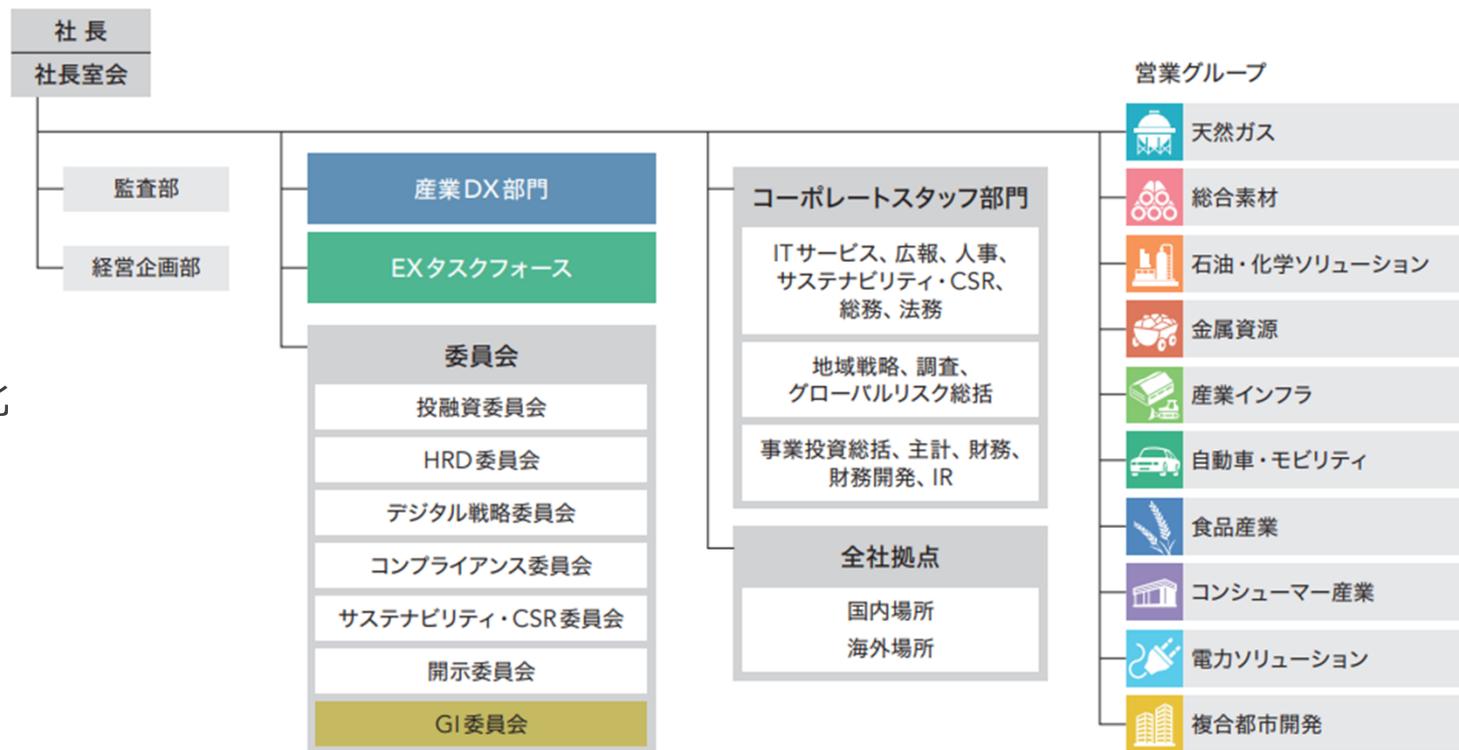
2022年11月7日



組織体制

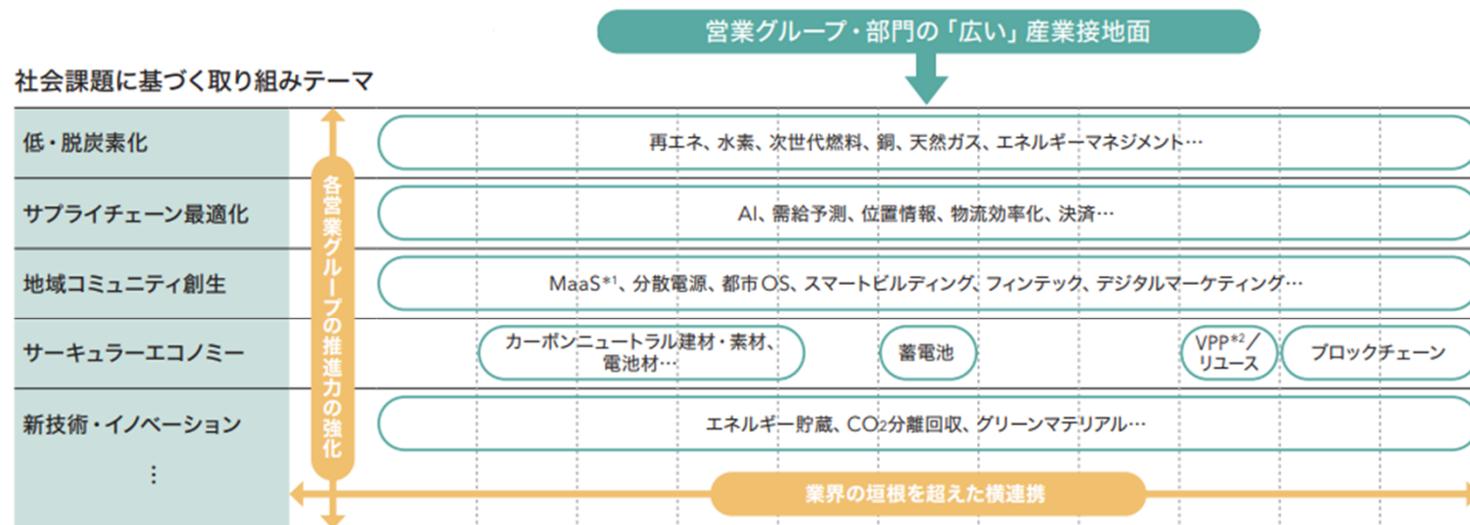
<今年度の動き>

- 産業DX部門新設
- EXタスクフォース人員増強
- グローバルインテリジェンス委員会 (GI委員会)設置
→激変する外部環境への対応力強化



タテ×ヨコによる総合力最大化

地政学等の不透明なマクロ環境、業界を超えて大きく変化する事業環境において、グローバルインテリジェンスを活かしたタイムリーな対応や産業横断的な取り組みを強化。



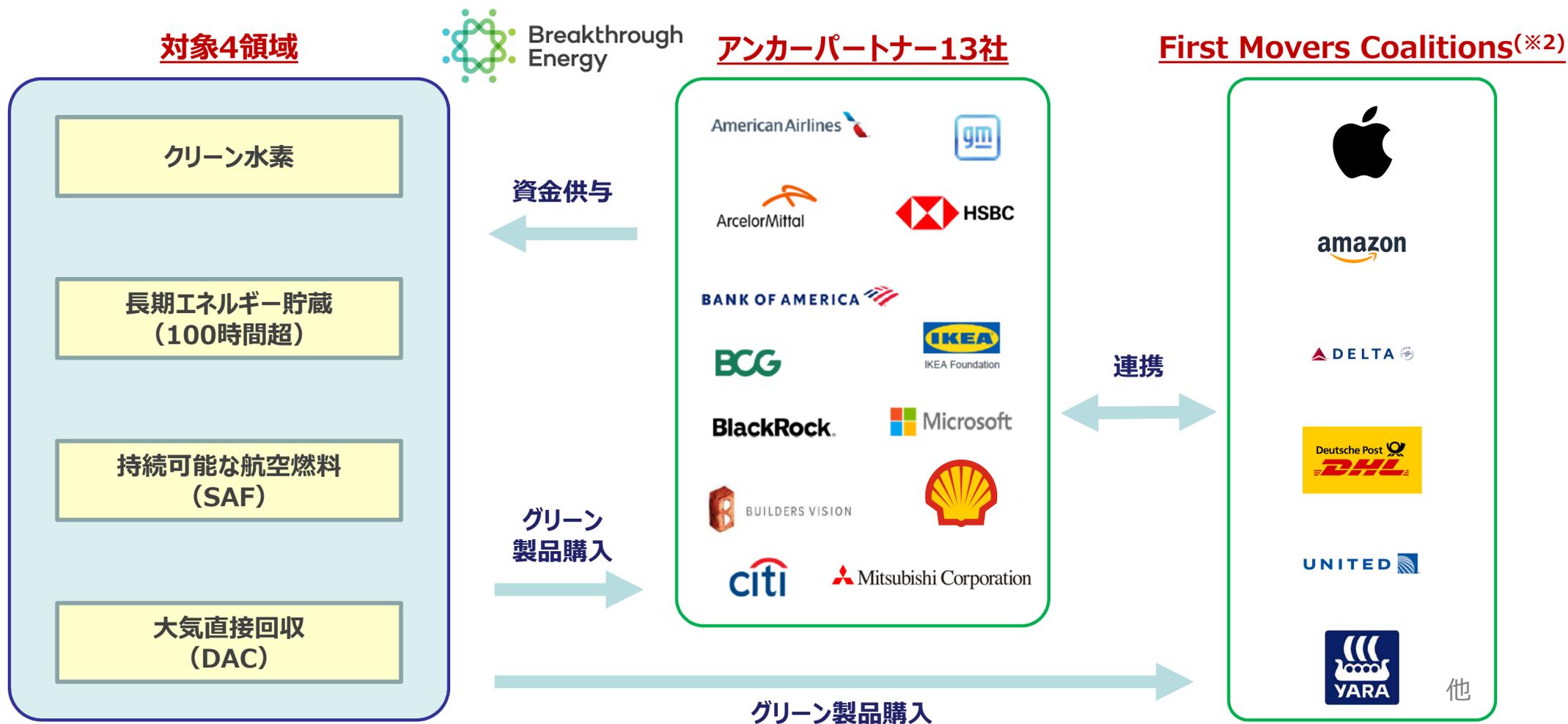
*1 MaaS: Mobility as a Service (モビリティを活用したサービス事業)
*2 VPP: Virtual Power Plant / 仮想発電所 (分散している再エネ等を制御・管理することで1つの発電所として機能させること)

- エネルギーの安定供給責任を果たしつつ、再エネ倍増、次世代エネルギーサプライチェーン構築への取り組みをグローバルに進める。
- 財務の健全性を維持し、2030年度までに、再エネ、銅、天然ガス、水素・アンモニアなどの分野に、総額2兆円規模を投資。



*1 「Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage」の略。「二酸化炭素回収・利用・貯留技術」 *2 持続可能性に配慮された生物資源由来の原料 *3 大気中や工場などから排出されたCO₂と水素から製造されるクリーン燃料

- 革新的な脱炭素技術の社会実装を加速させるBEC※1にアジア域内の企業として初めて参画
- EX戦略を具体化させていく上で重要技術である以下4領域において、**研究開発を終えた規模感のある脱炭素に資する技術を用いた個別プロジェクトへの資金供与（補助又は出資）**を行い、脱炭素技術の社会実装を加速させる狙い



※1：ビルゲイツ氏が2015年に設立した、脱炭素に関する投資及び慈善活動などを行うBreakthrough Energyの取り組みの一環

※2：米ケリー気候問題担当大統領特使/世界経済フォーラムのパートナーシップにより設立されたイニシアティブ。参加企業は2030年迄のグリーン製品/サービスの購入をコミットし、規模感のある需要創出を図る